



教えて！外務省！

知っておきたい国際協力 Vol.4



外務省 ODA 広報キャラクター
©DLE ODAマン

今月、日本がホスト国を務める東京栄養サミット2021が開催されます。世界の栄養改善の重要性が高まる現在、サミットが果たす役割は大きくなっています。

今月の
テーマ

東京栄養サミット 2021

Q どんなことを行うサミットなの？

A

各国政府や国際機関、企業、NGO、学術機関などの関係者が集まり、世界の人々が抱える**栄養改善に関する課題について議論**します。

12月7日(火)、8日(水)の2日間にわたり東京栄養サミット2021が開催されます。各国政府、国際機関をはじめ、企業、NGOなどの団体、学術機関などのさまざまな分野の関係者が、世界が抱える栄養に関する課題について議論を交わす重要な場です。

世界では10人に1人が慢性的飢餓に陥っています。程度の深刻な慢性的飢餓を含む「低栄養」だけでなく、肥満や生活習慣病などを引き起こす「過栄養」も改善が必要で、両者を含めて「栄養不良」といいます。栄養不良と聞くと、途上国をイメージする方もいるかもしれませ

んが、世界全体で低栄養と過栄養という「栄養不良の二重負荷」を抱えているのです。こうした現状は、人間の生命や健康維持だけでなく経済的にも大きな影響を及ぼしています。

また、2030年の目標達成期限が迫っている持続可能な開発目標(SDGs)にも栄養は関わっています。栄養の状態の改善は17あるSDGsの目標2に該当し、さらにそのほか計12項目の目標にも深く関係しています。

この栄養サミットの始まりは12年のロンドンオリンピック・パラリンピックの最終日にキャメロン・イギリス首相(当時)が主催

した「飢餓サミット」です。この動きがきっかけとなり、翌年の13年にロンドンで第1回「栄養サミット」が開催されました。その後はオリンピック・パラリンピック開催の機会に合わせて行われ、第2回は16年のリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックに合わせてブラジルで開催。そして、今年の日本の開催へとつながっています。

新型コロナウイルス感染症拡大による東京オリンピック・パラリンピックの延期を受けて東京栄養サミットの開催も影響を受けました。また、物流システムの停滞や、家庭への経済的な打撃などによる世界の栄養不良は残念ながら悪化している状況です。バランスのいい栄養を摂ることは免疫機能の維持につながり、病気の予防や治療にも大きく役立ちます。こうした背景からも栄養の重要性はますます高まっており、栄養サミットを行う意義はとて大きく大きくなっています。

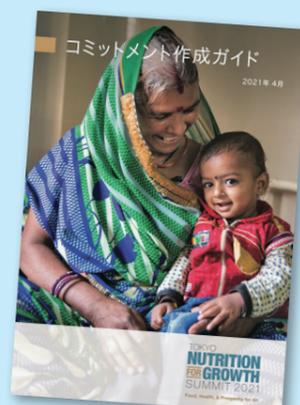
写真提供：萩原明子/JICA



上：ガーナで行われた母子手帳を活用した栄養指導の風景。栄養改善につながる取り組み。下：乳幼児の予防接種と栄養をテーマにしたサイドイベントの様子。日本から原圭一国際協力局参事官(左)が出席*1。



関係者に向けて、日本政府が栄養の専門家とともにまとめた『「サミット」作成ガイド』。



Q 東京栄養サミット2021で目指しているものは？

A

コミットメントの発表などを通じて、**栄養改善に対する取り組みや現状を共有し、その動きをさらに促進していく**ことです。

初日には、各国政府、国際機関、企業、NGO、学術機関などの団体によるコミットメント(誓約)が発表されます。たとえば、政府の代表が「被支援国に対する栄養分野の技術支援に〇億ドルを拠出する」、企業が「〇〇年までに健康的で持続可能な食料システムの構築に配慮した新製品を3つ開発する」といった、それぞれの今後の栄養に関する取り組みを公の場で約束するのです。これにより栄養課題に対する世界全体の機運をさらに高めて

いくことが今回のサミットの大きな目的です。コミットメントを考える手助けになるようにと、日本政府は関係者に向けた『コミットメント作成ガイド』を国際的な栄養の専門家とともに作りしました。また、発表されたコミットメントは成果文書としてまとめ、今後、進捗状況を1年ごとに報告していく予定です。

2日目は、今回設けたテーマについての話し合いが行われる予定です。テーマは、①栄養サービスのユニバーサル・ヘルス・カバレッジ

(UHC*)への統合、②健康的で持続可能なフード・システムの構築、③脆弱な状況下における栄養不良対策、④データに基づく説明責任、⑤栄養改善のための資金確保、の5つに分かれています。①②③が重点分野、④⑤が分野を横断して議論されるテーマになっています。

栄養は、保健、農業、環境、教育などさまざまな分野につながるものです。そのことを再認識する場としても栄養サミットがもつ役割は大きいものです。

Q 私たちも参加できるの？

A

サミットの様子は**一般視聴**できます。また、**オンラインで視聴参加可能なサイドイベント**もあります。

今回のサミットでは、世界の人々に日本の食のよさを知ってもらいたいと思っています。日本は戦後、栄養不良の時代が長くありました。そこから今は世界でもトップレベルの長寿国になったわけです。それは、日本の食文化や、栄養に関する取り組みなど、これまで培ってきたものの成果のひとつです。具体的には、日本の発酵食品や、学校給食の紹介、安心・安全の食材と食品を提供する企業の取り組みなどを伝えていく予定です。

こうしたことは、東京栄養サミット2021のサイドイベントでも発信していきます。サ

イドイベントというのは、サミットの開催前後を含む10月1日から12月17日までの期間に、政府機関、国際機関、企業、NGOなどが主催するオンラインイベントのことです。外務省のホームページでもサイドイベントに関する情報を紹介する予定です。一般の方も視聴できるものがありますので、ぜひ参加してみてください。

栄養課題への取り組みに対する成果は、見えにくかったり、測りにくかったり、また時間がかかる部分が大きく、栄養改善に向けての取り組みには多くの課題があります。し

かし、栄養に関する課題の解決は、人間の生命に直結するとても重要なものです。今回のサミットが読者のみなさんにとって、普段食べている食を通じて、世界の食料分配や地球環境に与える影響について考えるきっかけになればうれしいです。



「東京栄養サミット2021」について

「東京栄養サミット2021」の最新情報や関連情報については、外務省ウェブサイト(上のQRコード)を確認ください。